

木で家を作る際に、接着剤やボルト、ねじ、釘などを使って造ることは容易ですが、オークヴィレッジの理念である「百年かかって育った木は百年使えるモノに」を達成し、資源を枯渇させないと共に、長く使えるモノ造りをする為には、木よりも寿命の短い接着剤や金物を使わず、木は木同士で接合させる必要があり、伝統的な構法の仕口、継手を使って木組みをしています。

家具も同じことが言えますので、その為には従来の工法を使い、木の個性を読み解きモノを作れる大工や職人が工房にいればモノはできません。また、いろいろな材料を原木から仕入れ、製材し、乾燥をして材料を準備する職人も必要です。「木材」と「職人」がいて、木のモノ造りができるのです。

**F:** 木で改装していただいた書斎に入りますと、不思議と落ち着きます。気持ちも高まり、仕事も捗るようになります。

木で家具や家を作る面白さややりがいも教えていただけますか。



オークヴィレッジの家具工房  
オーダー家具の注文も多い

**U:** 今日はこんな香りがするから、建築工房では大工が桧を削っているなどが、少し離れた家具工房から、楠(くす)を加工している香りや、材料を積む音がこだまして聞こえて来ます。寒い日には、薪ストーブで暖を取る工房から薪のいい香りが漂ってきます。木が身近にあると、この木で何を作ろうかとか、こんな風に使ったら空目が美しく見えるだろうかと、想像力が掻き立てられます。

デザインを考え、材料を準備し、加工し、仕上げ、森の木が美しいモノに生まれかわり、お客さまに使っていただける。お客さまの笑顔が見えた時、全てが満ち足りた気持ちになります。

**F:** オーディオルームに、暖炉も一緒に作っていただきました。木が燃えるパチパチという音や、木の香

りを楽しんでいます。とても贅沢な時間をゆっくりと過ごしています。

オークヴィレッジの事務所と工房は、たくさんの雑木林に囲まれた、近くに川が流れる素敵な場所にありますね。こういう素敵な環境に工房があるからこそ、やさしいアイデアが生まれるように思います。

木や森に囲まれて、家具を製作する楽しさを教えてください。



オークヴィレッジ全景・周辺の森

**U:** 春の森は、初々しい新緑の季節を迎え、草花が咲き、鳥たちのさえずりが聞こえだし、生命感が溢れます。出張から工房に帰って来ると、空気の濃さ、澄んだ空気を感じ、大きく深呼吸したくなります。

暑さが厳しくなると、木々は緑を深め、セミが鳴き、暑いなー、夏だなーと思うのですが、森に立ち入ると、時々吹く風が涼しく、汗もひいていきます。夕方になると、森からの冷気が部屋に流れ込み、天然クーラーが効き出します。

また、日が段々と短くなるに連れ、森は色付き始め、美しい紅葉の景色を見せてくれます。

森は刻々と風景を変え、見る者を飽きさせることはありません。

また、木に囲まれた暮らしは、優しく自然に包まれた心地良さがあります。室内に響く音は優しく、触れると艶やかで温かい。出来立ての家は木の香りに包まれています。木は最初色白で若々しいが、年を重ねると、やがて落ち着いた色合いとなり気品と風格を増していきます。

木はいつも人に寄り添い、人が年を重ねる様に木も年を重ね、一生の友の様に思えてきます。

**F:** アメ色になった木の階段や手すりの風合いが素敵です。クラシックホテルの古い建物や家具に囲まれて時間を過ごすのは、とても落ち着きます。木